

A LITTLE SCHOOL WITH BIG DREAMS

“小さな学校 大きな人間づくり”

このうら

佐世保市立神浦小学校

校長室便り

No.71

平成26年2月10日(月)

文責：校長 園田 俊郎

学校教育目標：心やさしく進んで学びたくましく生きる子どもの育成

## 清清しい爽やかな笑顔でした。

また  
オリンピックネタ  
ですが・・・。

No.69に書いていたソチオリンピック、フリースタイルスキー女子モーグルに出場した上村愛子選手。攻めに攻めまくった本当に素晴らしい滑りで、誰もが銅メダルを確信したのではないのでしょうか？

しかし、結果は皆さんもご存知のとおり、惜しくも4位。その採点結果に、巷では様々な意見が出ています。(私も、納得がいかない一人でした。タイムだけではない採点競技は難しいですね。)

詳しいことはわからず、素人考えで、外部の者が意見を言うのは簡単ですが、誰よりも「いろいろな複雑な思い」を持っているのは上村愛子さん、ご本人でしょう。そのご本人が結果は結果として潔く受け止め、「自分のやりたい滑りができた。自分の滑りができ、達成感、満足感でいっぱい」とのこと。

18歳での初出場から16年。努力を続けた自分。支えてくれた家族やスタッフ。私たちの想像以上にいろいろな事があり、様々な思いがあったことでしょう。

その上での、結果の受け止め方、あの清清しく、そして爽やかな笑顔。競技だけでなく、そんな、人としてのあり方の素晴らしさに感動し、また涙してしまいました。

「本当に素晴らしかった。あなたが心の金メダルです。ありがとう、そして、お疲れ様でした。」の一言を贈りたいですね。

上村選手を始め、スケートの浅田真央選手、高橋大輔選手、スキージャンプの葛西紀明選手等々、一人一人の選手のことを調べ、深く知れば知るほど、その活躍の裏には、栄光や喜びだけではなく苦悩や挫折など、様々なドラマがあり、スポーツ選手としてだけでなく、人としての生き方に学ぶことがたくさんあります。

子ども達にも、そんな部分まで関心を持ってほしいと思いますし、伝えていきたいものですね。



### 【フッ化物洗口の実施開始について】

先日の「フッ化物洗口体験」へのご参加、ありがとうございました。その際、ご説明しましたとおり、今日から、水を使用してフッ化物洗口の練習を行い、来週2月19日(水)から、本校でのフッ化物洗口を始めます。



### 《宇久地区小中高一貫教育地区報告会へのご参加、ありがとうございました。》

ご多用の中、2月7日(金)に開催しました「宇久地区小中高一貫教育地区報告会」へご参加頂き、ありがとうございました。開会前にアトラクションとして披露した、本校14名の子ども達の『大唄(おうたい)』。参加された中には「初めて見た、初めて聞いた」という方も多かったようでした。全員、堂々と、そして凛として、自慢の私、自慢の大唄を披露することができました。

島内4校が連携・協力して取り組んできた一貫教育。これからも、一生懸命に取り組んでまいりますので、今後とも、どうぞご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

